

2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年2月13日

東

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所  
 コード番号 7228 URL https://www.daytona.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 織田 哲司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 杉村 靖彦 (TEL) 0538 (84) 2200  
 定時株主総会開催予定日 2020年3月24日 配当支払開始予定日 2020年3月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年3月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有 (株主向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期の連結業績 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	8,606	6.3	687	15.6	705	12.9	458	14.0
2018年12月期	8,097	29.6	594	61.8	624	63.5	401	58.3

(注) 包括利益 2019年12月期 458百万円 (15.2%) 2018年12月期 398百万円 (57.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年12月期	195.49	188.41	14.4	10.6	8.0
2018年12月期	171.48	166.76	14.4	9.5	7.3

(参考) 持分法投資損益 2019年12月期 ー百万円 2018年12月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期	6,761	3,450	50.3	1,450.23
2018年12月期	6,515	3,018	45.7	1,271.41

(参考) 自己資本 2019年12月期 3,399百万円 2018年12月期 2,980百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年12月期	516	△256	△193	616
2018年12月期	454	△117	△428	548

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年12月期	ー	0.00	ー	17.00	17.00	39	9.9	1.4
2019年12月期	ー	0.00	ー	24.00	24.00	56	12.3	1.8
2020年12月期(予想)	ー	0.00	ー	24.00	24.00		ー	

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,228	1.8	254	△17.3	268	△14.5	180	△10.7	76.94
通 期	8,873	3.1	691	0.6	714	1.3	485	6.0	207.14

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 社（社名）、除外 1社（社名）株式会社プラス
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期	3,604,600株	2018年12月期	3,604,600株
② 期末自己株式数	2019年12月期	1,260,672株	2018年12月期	1,260,597株
③ 期中平均株式数	2019年12月期	2,343,980株	2018年12月期	2,344,003株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年12月期の個別業績（2019年1月1日～2019年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	5,021	11.3	474	45.7	508	56.8	349	65.1
2018年12月期	4,511	4.5	325	△14.4	324	△15.5	211	△19.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年12月期	149.03		143.64					
2018年12月期	90.27		87.79					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期	4,418	2,848	63.3	1,193.76
2018年12月期	4,024	2,526	61.8	1,061.72

(参考) 自己資本 2019年12月期 2,798百万円 2018年12月期 2,488百万円

2. 2020年12月期の個別業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,492	2.5	189	△18.2	132	△17.2	56.56
通 期	5,250	4.6	525	3.4	368	5.4	157.07

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページの「1.経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2020年3月24日の株主総会終了後に株主向け決算説明会を開催する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(表示方法の変更)	14
(企業結合等関係)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
4. 個別財務諸表	20
(1) 貸借対照表	20
(2) 損益計算書	22
(3) 株主資本等変動計算書	24

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続き、個人消費も堅調な推移となりました。一方で、消費税率引き上げ後の消費者心理の冷え込みや海外経済における、米中貿易摩擦の長期化の懸念などが、先行きに不安材料を残す状況となりました。

二輪車業界では、国内新車販売台数が36万2千台となり、前年から約1.9%の微減となりました。排気量別では、排気量50cc以下の原付一種が前年比約7%減と減少幅が大きかったものの、51cc以上の原付二種、軽二輪、小型二輪については新車販売が前年を上回る状況となりました。

当社グループでは、国内拠点卸売事業を中心に年初から販売が好調に推移し、ゴールデンウィークの長期大型連休なども追い風となり、過去最高の売上高となりました。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は86億6百万円（前期比6.3%増）、営業利益は6億87百万円（前期比15.6%増）、経常利益は7億5百万円（前期比12.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は4億58百万円（前期比14.0%増）となりました。

#### [国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業では、㈱デイトナおよび㈱ダートフリークの卸売事業をセグメントしております。

㈱デイトナでは、売上高、利益ともに前期を大きく上回りました。製品別ではインカム、スマホマウント、ツーリングバッグなどのツーリング用品、バイク用ガレージなどが引き続き好調な推移となり、電動アシスト自転車は販路の拡大もあり大きく伸ばしました。㈱ダートフリークのオフロード関連卸売事業においても売上高は順調な推移となりましたが、利益面では、難動品の廃棄処分などもあり前年を下回りました。この結果、国内拠点卸売事業の売上高は65億71百万円（前期比9.5%増）、セグメント利益は5億95百万円（前期比15.8%増）となりました。なお、㈱デイトナが12月末決算であるのに対し㈱ダートフリークは9月末決算であるため、当連結累計期間においては、㈱ダートフリークの2018年10月から2019年9月までの経営成績を連結しております。

#### [アジア拠点卸売事業]

アジア拠点卸売事業では、インドネシア市場を拠点とする販売先パートナーへの補修・消耗品の販売の鈍化、在庫調整が続き、売上高、セグメント利益共に前期を下回りました。この結果、売上高は85百万円（前期比61.9%減）、セグメント損失は26百万円（前期はセグメント損失9百万円）となりました。

#### [小売事業]

小売事業では、バイク用部品用品小売店舗等を展開する㈱ライダーズ・サポート・カンパニーと㈱プラスおよび㈱ダートフリークの小売部門を加えております。㈱ライダーズ・サポート・カンパニーでは、ライコランドFC事業、アップガレージライダーズFC事業ともに品揃えの充実などもあり、売上高は順調な推移となりました。利益面では人材投資の費用などもあり、前期を若干下回りました。㈱プラスおよび㈱ダートフリークの小売部門では売上高、利益ともに順調な推移となりましたが、㈱プラスのWebサーバーへの不正アクセスが7月に判明し、直ちにオンライン販売でのカード決済を停止いたしました。7月以降はオンライン販売は代引のみの販売としたことで売上高が減少し、利益面でも影響がありました。この結果、売上高は20億33百万円（前期比2.4%増）、セグメント利益は84百万円（前期比25.8%減）となりました。なお、㈱ライダーズ・サポート・カンパニーが12月末決算であるのに対し㈱プラスおよび㈱ダートフリークは9月末決算であるため、当連結累計期間においては、㈱プラスおよび㈱ダートフリークの2018年10月から2019年9月までの経営成績を連結しております。また、㈱プラスについては2019年7月1日に㈱ダートフリークに吸収合併したため消滅会社となっております。

#### [その他]

太陽光発電事業につきましては、当年の8月に愛知県設楽町に新たな発電施設750kwを設置しました。これにより合計で2,050kw相当の発電施設を有することになりました。また設楽町の発電施設が加わったことにより、売上高、利益ともに前期を上回りました。また、2017年から新たな事業として加わったリユースWEB事業では、利益面での黒字化には至りませんでした。引き続き取引先業者を増やすなどの施策を打ち、中古部品販売売上は順調に伸ばし前期を上回りました。手数料売上に関してはアプリのダウンロード数とアクティブユーザーの獲得を主軸に引き続き先

行投資を続けております。この結果、その他事業における売上高は1億28百万円（前期比30.8%増）、セグメント利益は2百万円（前期はセグメント損失5百万円）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5.7%増加し、41億55百万円となりました。これは、たな卸資産が1億98百万円増加したことなどによります。

### (固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.9%増加し、26億6百万円となりました。これは、無形固定資産が81百万円減少しましたが、有形固定資産が1億6百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2億46百万円増加し、67億61百万円となりました。

### (流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ9.8%増加し、23億66百万円となりました。これは、短期借入金が2億58百万円減少したことなどによります。

### (固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ29.6%減少し、9億45百万円となりました。これは、長期借入金が4億5百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億85百万円減少し、33億11百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ14.3%増加し、34億50百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ68百万円増加の6億16百万円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュフロー)

たな卸資産の増加による支出が1億98百万円、法人税等の支払額による支出が2億76百万円となりましたが、税金等調整前当期純利益が6億98百万円の計上、減価償却費が1億51百万円の計上となったことにより、当連結会計年度における営業活動より得られた資金は5億16百万円（前連結会計年度に得られた資金は4億54百万円）となりました。

### (投資活動によるキャッシュフロー)

有形固定資産の取得による支出が2億35百万円、無形固定資産の取得による支出が5百万円となったことにより、当連結会計年度における投資活動より使用された資金は2億56百万円（前連結会計年度に使用された資金は1億17百万円）となりました。

### (財務活動によるキャッシュフロー)

長期借入金の返済による支出が4億74百万円となりましたが、長期借入れによる収入が2億10百万円となったことにより、当連結会計年度における財務活動により使用された資金は1億93百万円（前連結会計年度に使用された資金は4億28百万円）となりました。

## (4) 今後の見通し

当社グループにおいては、バイクライダーから、より強く支持される魅力的な新商品および改良商品の提供を推進し、マーケットシェアの拡大を目指します。利益面では人材確保、内部管理体制の強化、労働生産性を向上する取り組みを引き続き推進いたしますが、安定した利益の確保に努めてまいります。

<連結業績予想>※カッコ内は前期比増減率

売上高	88億73百万円	(3.1%)
営業利益	6億91百万円	(0.6%)
経常利益	7億14百万円	(1.3%)
親会社に帰属する当期純利益	4億85百万円	(6.0%)

※業績予想については、現時点で当社が入手可能な情報に基づく判断です。為替変動、天候、経済情勢の大きな変化、消費者心理の影響、などにより予想と大きく異なる可能性があります。

※現在発生している新型コロナウイルスの影響により、中国からの調達商品の遅れや、今後の日本国内での感染状況による消費活動の低下等が懸念されますが、現時点で影響する期間や範囲などを合理的に算出することは困難であり、業績予想には反映しておりません。

今後の状況で、業績への大きな影響が推測される場合には、業績予想を修正してお知らせいたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	673,760	760,222
受取手形及び売掛金	797,429	771,365
たな卸資産	2,158,734	2,357,195
その他	307,498	273,637
貸倒引当金	△6,292	△7,355
流動資産合計	3,931,129	4,155,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,846,570	1,856,145
減価償却累計額	△1,273,916	△1,306,946
建物及び構築物 (純額)	572,654	549,199
機械装置及び運搬具	591,091	778,178
減価償却累計額	△286,375	△342,314
機械装置及び運搬具 (純額)	304,715	435,863
土地	863,361	863,532
その他	295,141	310,051
減価償却累計額	△245,998	△262,380
その他 (純額)	49,142	47,671
有形固定資産合計	1,789,873	1,896,268
無形固定資産		
のれん	585,484	520,430
その他	57,676	41,395
無形固定資産合計	643,160	561,826
投資その他の資産		
長期前払費用	4,940	1,431
繰延税金資産	93,248	94,048
その他	54,254	56,366
貸倒引当金	△805	△3,111
投資その他の資産合計	151,638	148,735
固定資産合計	2,584,672	2,606,829
資産合計	6,515,802	6,761,896

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	263,204	269,590
短期借入金	1,361,250	1,619,579
未払金及び未払費用	269,138	236,686
未払法人税等	153,712	121,531
賞与引当金	46,616	51,408
その他	60,261	67,414
流動負債合計	2,154,183	2,366,210
固定負債		
長期借入金	1,317,037	911,750
退職給付に係る負債	889	1,075
その他	25,368	32,799
固定負債合計	1,343,295	945,624
負債合計	3,497,478	3,311,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,456	412,456
資本剰余金	485,338	485,338
利益剰余金	2,733,069	3,151,457
自己株式	△628,736	△628,823
株主資本合計	3,002,127	3,420,428
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△21,927	△21,180
その他の包括利益累計額合計	△21,927	△21,180
新株予約権	37,974	50,719
非支配株主持分	149	94
純資産合計	3,018,323	3,450,062
負債純資産合計	6,515,802	6,761,896



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
売上高	8,097,794	8,606,562
売上原価	4,712,839	5,051,099
売上総利益	3,384,954	3,555,462
販売費及び一般管理費		
荷造運送費	242,967	281,616
広告宣伝費	200,702	179,041
貸倒引当金繰入額	△42	3,368
役員報酬	87,662	87,923
給料及び手当	794,734	823,906
賞与	125,896	147,873
賞与引当金繰入額	46,616	51,408
福利厚生費	174,338	190,298
退職給付費用	42,223	37,206
株式報酬費用	14,079	12,745
旅費及び交通費	94,878	96,369
賃借料	169,118	168,289
リース料	38,729	39,775
減価償却費	122,162	108,191
研究開発費	43,156	44,089
のれん償却額	65,053	65,053
支払手数料	148,764	159,315
その他	379,095	371,582
販売費及び一般管理費合計	2,790,137	2,868,053
営業利益	594,817	687,408
営業外収益		
受取利息	269	339
受取手数料	9,757	10,403
保険解約返戻金	14,796	8,957
試作品等売却代	12,456	11,035
デリバティブ評価益	19,167	2,521
その他	9,613	11,475
営業外収益合計	66,061	44,733
営業外費用		
支払利息	16,448	15,620
為替差損	18,426	9,782
その他	1,223	1,564
営業外費用合計	36,098	26,967
経常利益	624,780	705,175

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	1,334	993
特別利益合計	1,334	993
特別損失		
減損損失	17,026	6,183
固定資産除却損	0	1,225
特別損失合計	17,026	7,409
税金等調整前当期純利益	609,088	698,759
法人税、住民税及び事業税	240,360	241,379
法人税等調整額	△33,216	△799
法人税等合計	207,144	240,580
当期純利益	401,943	458,178
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△14	△57
親会社株主に帰属する当期純利益	401,957	458,236

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
当期純利益	401,943	458,178
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,558	749
その他の包括利益合計	△3,558	749
包括利益	398,385	458,928
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	398,414	458,982
非支配株主に係る包括利益	△29	△54

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	412,456	485,563	2,368,615	△628,736	2,637,898
当期変動額					
連結子会社株式の取得による持分の増減		△224			△224
剰余金の配当			△37,504		△37,504
親会社株主に帰属する当期純利益			401,957		401,957
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△224	364,453	—	364,229
当期末残高	412,456	485,338	2,733,069	△628,736	3,002,127

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△18,383	△18,383	23,894	178	2,643,587
当期変動額					
連結子会社株式の取得による持分の増減					△224
剰余金の配当					△37,504
親会社株主に帰属する当期純利益					401,957
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,543	△3,543	14,079	△29	10,506
当期変動額合計	△3,543	△3,543	14,079	△29	374,736
当期末残高	△21,927	△21,927	37,974	149	3,018,323

当連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	412,456	485,338	2,733,069	△628,736	3,002,127
当期変動額					
剰余金の配当			△39,848		△39,848
親会社株主に帰属する当期純利益			458,236		458,236
自己株式の取得				△86	△86
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	418,388	△86	418,301
当期末残高	412,456	485,338	3,151,457	△628,823	3,420,428

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△21,927	△21,927	37,974	149	3,018,323
当期変動額					
剰余金の配当					△39,848
親会社株主に帰属する当期純利益					458,236
自己株式の取得					△86
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	746	746	12,745	△54	13,437
当期変動額合計	746	746	12,745	△54	431,738
当期末残高	△21,180	△21,180	50,719	94	3,450,062

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	609,088	698,759
減価償却費	161,315	151,347
減損損失	17,026	6,183
のれん償却額	65,053	65,053
株式報酬費用	14,079	12,745
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,913	4,791
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	160	160
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△148	3,368
受取利息及び受取配当金	△271	△341
支払利息	16,448	15,620
為替差損益 (△は益)	500	△1,091
デリバティブ評価損益 (△は益)	△19,167	△2,521
固定資産除売却損益 (△は益)	△1,334	232
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,518	26,538
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△28,035	△198,249
仕入債務の増減額 (△は減少)	△110,832	6,027
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20,251	△18,526
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△626	1,130
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△60,824	33,008
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△27,066	△4,941
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△4,842	1,210
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	2,085	7,625
その他	401	656
小計	641,828	808,787
利息及び配当金の受取額	271	339
利息の支払額	△16,630	△15,814
法人税等の支払額	△171,200	△276,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	454,268	516,698

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△21,002	△78,817
定期預金の払戻による収入	14,400	60,414
有形固定資産の取得による支出	△64,114	△235,126
有形固定資産の売却による収入	1,943	2,098
無形固定資産の取得による支出	△21,296	△5,243
差入保証金の回収による収入	4,841	210
差入保証金の差入による支出	△31,585	△210
その他	△287	△101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117,101	△256,775
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△28,823	117,432
長期借入れによる収入	199,000	210,000
長期借入金の返済による支出	△554,520	△474,390
リース債務の返済による支出	△6,279	△6,620
配当金の支払額	△37,591	△39,874
その他	—	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	△428,214	△193,540
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,811	1,676
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△96,859	68,058
現金及び現金同等物の期首残高	645,005	548,145
現金及び現金同等物の期末残高	548,145	616,204

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示する方法に変更しております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(連結子会社間の吸収合併)

当社は、2019年5月17日開催の当社取締役会において、当社の完全子会社である株式会社ダートフリークを存続会社、株式会社プラスを消滅会社として吸収合併することを決議し、2019年7月1日付で合併いたしました。

### 1. 合併の目的

当社グループの統合再編により業務の合理化・効率化によるコスト削減を図るものであります。

### 2. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合企業の名称	株式会社ダートフリーク
事業の内容	自動二輪車等部品の販売

被結合企業の名称	株式会社プラス
事業の内容	自動二輪車等部品の販売(通販)

(2) 企業結合日

2019年7月1日

(3) 企業結合の法定形式

株式会社ダートフリークを存続会社とし、株式会社プラスを消滅会社とする吸収合併方式です。

(4) 結合後企業の名称

株式会社ダートフリーク

(5) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理します。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主として事業の業態を基礎としたセグメントから構成されており、卸売事業については、さらに国内拠点とアジア拠点に区分し、「国内拠点卸売事業」、「アジア拠点卸売事業」及び「小売事業」の3つの報告セグメントとしております。

各報告セグメントの事業内容は、以下の通りです。

「国内拠点卸売事業」は、日本を拠点として、自動二輪アフターパーツ・用品の企画・開発を行い、日本国内外の販売店へ卸売販売を行っております。

「アジア拠点卸売事業」は、インドネシアを拠点として、自動二輪アフターパーツ・用品の企画・開発を行い、主として東南アジア地域の販売店へ卸売販売を行っております。

「小売事業」は、自動二輪アフターパーツ・用品を仕入れ、エンドユーザー向けに販売を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。事業セグメントの利益は営業利益をベースとした数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,788,936	224,662	1,985,907	7,999,506	98,287	8,097,794	—	8,097,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	215,434	474	530	216,439	—	216,439	△216,439	—
計	6,004,371	225,137	1,986,438	8,215,946	98,287	8,314,234	△216,439	8,097,794
セグメント利益 又は損失 (△)	514,703	△9,500	114,363	619,565	△5,079	614,485	△19,668	594,817
セグメント資産	4,924,313	99,727	1,240,848	6,264,890	313,388	6,578,278	△62,476	6,515,802
セグメント負債	2,711,481	64,252	1,376,643	4,152,377	10,215	4,162,592	△665,114	3,497,478
その他の項目								
減価償却費	92,180	2,997	23,651	118,829	43,284	162,114	△798	161,315
のれんの償却額	62,239	—	2,814	65,053	—	65,053	—	65,053
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	71,067	302	13,581	84,952	8,120	93,072	—	93,072

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△19,668千円には、セグメント間取引消去3,264千円、棚卸資産の調整額△23,732千円、固定資産の調整額798千円等が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額 △62,476千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(3) セグメント負債の調整額 △665,114千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(4) 減価償却費の調整額 △798千円は、未実現損益に係るものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,359,240	85,761	2,033,032	8,478,033	128,528	8,606,562	—	8,606,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	212,571	—	150	212,722	—	212,722	△212,722	—
計	6,571,811	85,761	2,033,182	8,690,756	128,528	8,819,284	△212,722	8,606,562
セグメント利益 又は損失(△)	595,887	△26,496	84,862	654,254	2,732	656,986	30,422	687,408
セグメント資産	5,018,714	58,305	1,290,585	6,367,604	448,154	6,815,758	△53,861	6,761,896
セグメント負債	2,581,782	36,190	1,338,064	3,956,038	23,868	3,979,907	△668,072	3,311,834
その他の項目								
減価償却費	84,137	2,370	22,415	108,924	43,179	152,103	△756	151,347
のれんの償却額	65,053	—	—	65,053	—	65,053	—	65,053
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	66,775	—	9,106	75,881	173,363	249,244	—	249,244

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額30,422千円には、セグメント間取引消去16,453千円、棚卸資産の調整額13,212千円、固定資産の調整額756千円等が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額 △53,861千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(3) セグメント負債の調整額 △668,072千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(4) 減価償却費の調整額 △756千円は、未実現損益に係るものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当連結会計年度において、小売事業を行う株式会社プラスは、国内拠点卸売事業を行う株式会社ダートフリーグを存続会社とする吸収合併により消滅したため、小売事業セグメントののれんの償却額が減少しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、自動二輪アフターパーツ・用品の販売を行っており、単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	アジア	その他	合計
6,967,056	336,537	330,337	463,862	8,097,794

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社山城	1,004,525	国内拠点卸売事業

当連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、自動二輪アフターパーツ・用品の販売を行っており、単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	アジア	その他	合計
7,579,260	333,556	233,228	460,517	8,606,562

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社山城	1,068,337	国内拠点卸売事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

	報告セグメント				その他 (千円)	調整額 (千円)	合計(千円)
	国内拠点卸 売事業 (千円)	アジア拠点 卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計(千円)			
減損損失	—	—	1,292	1,292	15,733	—	17,026

当連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

	報告セグメント				その他 (千円)	調整額 (千円)	合計(千円)
	国内拠点卸 売事業 (千円)	アジア拠点 卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計(千円)			
減損損失	—	—	6,183	6,183	—	—	6,183

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

	国内拠点卸売事 業(千円)	アジア拠点卸売 事業(千円)	小売事業(千 円)	その他(千円)	合計(千円)
当期末残高	560,155	—	25,328	—	585,484

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

	国内拠点卸売事 業(千円)	アジア拠点卸売 事業(千円)	小売事業(千 円)	その他(千円)	合計(千円)
当期末残高	520,430	—	—	—	520,430

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(注) 当連結会計年度において、小売事業を行う株式会社プラスは、国内拠点卸売事業を行う株式会社ダートフリークを存続会社とする吸収合併により消滅したため、小売事業セグメントののれんの金額が減少しております。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり純資産額	1,271.41円	1,450.23円
1株当たり当期純利益	171.48円	195.49円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	166.76円	188.41円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	401,957千円	458,236千円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	401,957千円	458,236千円
普通株式の期中平均株式数	2,344,003株	2,343,980株
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額	—	—
普通株式増加数	66,376株	88,093株
(うち、新株予約権)	(66,376株)	(88,093株)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当事業年度 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	250,858	315,444
受取手形	5,767	2,000
売掛金	556,968	514,988
商品	885,781	1,135,036
貯蔵品	856	822
前渡金	50,354	43,216
前払費用	10,008	12,973
その他	67,033	87,620
貸倒引当金	△6,294	△6,420
流動資産合計	1,821,334	2,105,682
固定資産		
有形固定資産		
建物	327,516	321,338
構築物	70,333	68,201
機械及び装置	277,447	403,922
車両運搬具	2,716	3,958
工具、器具及び備品	28,908	25,962
土地	568,711	568,711
リース資産	1,481	211
有形固定資産合計	1,277,115	1,392,306
無形固定資産		
商標権	2,518	2,145
ソフトウェア	48,379	34,401
その他	549	549
無形固定資産合計	51,446	37,096
投資その他の資産		
関係会社株式	803,828	803,828
出資金	20	20
関係会社長期貸付金	641,848	641,848
長期前払費用	127	647
繰延税金資産	27,996	36,004
その他	3,272	3,378
貸倒引当金	△602,638	△602,638
投資その他の資産合計	874,454	883,089
固定資産合計	2,203,016	2,312,492
資産合計	4,024,350	4,418,174

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当事業年度 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	150,607	161,147
短期借入金	300,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	232,596	234,765
リース債務	1,371	342
未払金	97,124	96,562
未払費用	36,222	41,250
未払法人税等	65,738	113,951
前受金	9,213	14,907
預り金	18,438	21,530
賞与引当金	24,600	28,148
その他	900	457
流動負債合計	936,813	1,083,064
固定負債		
長期借入金	554,363	471,982
リース債務	342	—
資産除去債務	6,174	14,315
固定負債合計	560,880	486,297
負債合計	1,497,693	1,569,361
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	412,456	412,456
資本剰余金		
資本準備金	340,117	340,117
その他資本剰余金	145,445	145,445
資本剰余金合計	485,563	485,563
利益剰余金		
利益準備金	52,579	52,579
その他利益剰余金		
特別償却準備金	52,050	28,995
別途積立金	1,150,000	1,150,000
繰越利益剰余金	964,770	1,297,322
利益剰余金合計	2,219,399	2,528,896
自己株式	△628,736	△628,823
株主資本合計	2,488,682	2,798,092
新株予約権	37,974	50,719
純資産合計	2,526,656	2,848,812
負債純資産合計	4,024,350	4,418,174

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
売上高	4,511,044	5,021,459
売上原価	2,773,228	3,045,656
売上総利益	1,737,815	1,975,803
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	178,686	196,633
広告宣伝費	117,079	123,717
貸倒引当金繰入額	△147	125
役員報酬	54,345	54,628
給料及び手当	342,387	359,700
賞与	87,687	104,782
賞与引当金繰入額	24,600	28,148
福利厚生費	78,305	91,873
退職給付費用	30,698	24,920
株式報酬費用	14,079	12,745
旅費及び交通費	56,417	58,896
賃借料	8,081	8,364
リース料	9,164	8,390
減価償却費	67,167	66,091
研究開発費	32,658	32,908
支払手数料	119,433	125,210
その他	191,381	204,117
販売費及び一般管理費合計	1,412,026	1,501,256
営業利益	325,789	474,546
営業外収益		
受取利息	376	3,061
受取手数料	3,577	4,010
経営指導料	3,000	24,000
その他	5,572	9,400
営業外収益合計	12,526	40,472
営業外費用		
支払利息	5,789	5,333
為替差損	7,623	824
その他	684	519
営業外費用合計	14,098	6,677
経常利益	324,217	508,341



(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	1,386	826
特別利益合計	1,386	826
特別損失		
減損損失	15,733	—
固定資産除却損	0	575
特別損失合計	15,733	575
税引前当期純利益	309,869	508,593
法人税、住民税及び事業税	126,054	167,256
法人税等調整額	△27,792	△8,008
法人税等合計	98,261	159,248
当期純利益	211,608	349,345

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			繰越利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金					
					特別償却準備金	別途積立金				
当期首残高	412,456	340,117	145,445	52,579	75,028	1,150,000	767,687	△628,736	2,314,578	
当期変動額										
剰余金の配当							△37,504		△37,504	
特別償却準備金の取崩					△22,978		22,978		—	
当期純利益							211,608		211,608	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	△22,978	—	197,083	—	174,104	
当期末残高	412,456	340,117	145,445	52,579	52,050	1,150,000	964,770	△628,736	2,488,682	

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	23,894	2,338,472
当期変動額		
剰余金の配当		△37,504
特別償却準備金の取崩		—
当期純利益		211,608
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14,079	14,079
当期変動額合計	14,079	188,184
当期末残高	37,974	2,526,656

当事業年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金				
					特別償却準備金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	412,456	340,117	145,445	52,579	52,050	1,150,000	964,770	△628,736	2,488,682
当期変動額									
剰余金の配当							△39,848		△39,848
特別償却準備金の取崩					△23,054		23,054		—
自己株式の取得								△86	△86
当期純利益							349,345		349,345
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				0			△0		
当期変動額合計	—	—	—	0	△23,054	—	332,551	△86	309,410
当期末残高	412,456	340,117	145,445	52,579	28,995	1,150,000	1,297,322	△628,823	2,798,092

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	37,974	2,526,656
当期変動額		
剰余金の配当		△39,848
特別償却準備金の取崩		—
自己株式の取得		△86
当期純利益		349,345
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,745	12,745
当期変動額合計	12,745	322,155
当期末残高	50,719	2,848,812